

力キ殻処分方法の検討

有効利用の情報収集



阿部幸一議員

質問 力キ殻などの処分は、養殖漁家にとって大きな問題である。簡単にしかも安価に処分する方法は。

沼崎町長 力キ殻等貝殻の処分は、平成18年度から、養殖漁家が仮置き、破砕、運搬し、町内3カ所の処分に埋立処理をしている。また、織笠漁協では、破砕して販売している。いずれも、仮置き場の管理、破砕の際の労力と経費、埋立処分手数料の負担が伴うが、現在取り得る簡単かつ安価な処分方法と考えている。しかし、埋め立てによる処分は、永続的に実施でき

る方法でないことから、今後も養殖漁家に過度の負担を強いることのないよう、力キ殻等の有効利用について情報の収集に努める。

質問 県と共に進めている「県北・沿岸振興策」の本町での取り組みは。
沼崎町長 ▽特用林産物のブランド化▽力キの品質向上、ウニの蓄養・販売促進を図る「地域営漁計画」の策定・実行▽金型関連企業を中心とした産業集積を目指す人材の確保・育成▽誘客イベントの継続実施とグリーンツーリズムの推進——など12項目にわたる。

施設活用

旧山田病院の有効活用 「利活用検討委員会」で協議

質問 旧山田病院の施設利用について検討しているようであるが、個人病院を開業したい人に貸し出してはどうか。また、テナントとして貸し出すなど検討しては。

沼崎町長 旧山田病院については、現在、増築棟部分について耐震調査を行っているところであり、再利用する方向で検討していきたいと考えている。

郷土資料館の配置を考えているが、社会福祉協議会からも利用したいとの申し入れがあり、利活用についてはこれから設置する「利活用検討委員会」で検討していきたいと考えている。
質問 山田の中心商店街を活性化するためにも、旧山田病院の活用を図るべきでは。
川村副町長 「利活用検討委員会」は10月1日に設置。有効に活用するため委員の意見を広く聞き具体的利用方法を検討していく。

議員9人が一般質問



図書館・郷土資料館などへの活用が検討されている「旧山田病院」